

# 電話機の概要

Cisco IP Phone 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理のほかに、Cisco IP Phone 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次の機能をサポートします。

- ネットワーク データおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ

## ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。








91031

項目	説明	参照先
1 電話スクリーン	電話機の機能を表示します。	P.11の「アプリケーションメニューについて」およびP.12の「回線およびコールのアイコンについて」
2 Cisco IP Phone シリーズ	Cisco IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3 ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.1の「ソフトキーの定義」
4 ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザの短縮ダイヤルを表示します。	P.11の「アプリケーションメニューについて」およびP.26の「短縮ダイヤル」
5 アプリケーション メニュー ボタン 	表示されるアプリケーションメニューにより、ボイスメッセージシステム、履歴とディレクトリ、各種設定およびサービスにアクセスできます。	P.11の「アプリケーションメニューについて」
6 保留ボタン 	アクティブ コールの保留、保留したコールの復帰、アクティブ コールと保留したコールの切り替えを行います。	P.18の「コールの保留と復帰」
7 キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.14の「基本的なコール処理」
8 音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	P.37の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」
9 ライト ストリップ付きのハンドセット	ハンドセットのライト ストリップは、着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	P.44の「ボイス メッセージへのアクセス」
10 フットスタンド	机やテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—





## アプリケーションメニューについて

電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト（[メッセージ]、[ディレクトリ]、[設定]、および [サービス]）を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、 <b>[選択]</b> を選択します。  または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	<b>[終了]</b> を押します。このとき、メニューの最上位レベルで <b>[終了]</b> を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる（そしてアプリケーションメニューに戻る）	<b>[終了]</b> を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または <b>[終了]</b> を押します。



### (注)

 を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。 または **[終了]** を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合（たとえば、新しいコールに応答する場合）、電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。









## 回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大 6 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。

## 回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼出中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼出中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.18 の「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.29 の「 <a href="#">共有回線について</a> 」を参照してください。
	認証されたコール	P.33 の「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.33 の「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」を参照してください。

## 機能のアベイラビリティについて

Cisco IP Phone の操作方法および使用可能な機能は、お客様の社内の電話機サポート チームが電話機システムを設定した内容により異なることがあります。このため、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの Cisco CallManager で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。